

Container Protection 編 当日の Q&A

| 項番 | ご質問内容  | 弊社からのご回答  | 補足等  |
|----|--|---|--|
| 1  | vSphere 7.0 サポートの件、次期リリースバージョンでの対応ということですが、次期リリースバージョンは具体的にいつ頃でしょうか？ | 現最新リリース(19.4)にて対応済です。また PowerProtect は四半期毎の機能リリースサイクルとなります。   | セッション中にご回答しました内容が間違っておりました。左記の回答が正しいです。<br>大変失礼いたしました。 |
| 2  | ご説明資料は、データで提供されますか？  | はい、こちらのサイトでダウンロードいただけます。  |  |
| 3  | namespace をリストアする際に、レプリカ数の変更など設定変更はできるのでしょうか？                        | リストア時の設定ではレプリカ数の変更は出来ません。<br>リストア後に kubctl 等を使用して変更頂ける様お願いします。  |  |
| 4  | Croud Native アーキテクチャの説明としてアプリとデータ保護ソフトウェアの分離とありましたが、どのような意味でしょうか？    | アプリケーションワークロードとは別の Velero/PowerProtect の Namespace が分離されており、アプリ側が影響を受けない構造になっています   |  |
| 5  | VM の仮想 PC のように Pod の実行場所が変わっても追従できるということですか？                         | はい、追従できます。  |  |
| 6  | 今後、Avamar との棲み分けはどのようになりますでしょうか。                                     | 対応ワークロードでの棲み分けとなります。例えば、今回ご紹介の K8s 連携のように比較的新しいワークロードについては、PowerProtect だけが対応実装していきますし、DT/LT のようなものについては Avamar だけがサポートするワークロードとなります。 |  |
| 7  | K8 のバックアップですが、他社製品との差別化のポイントはどこでしょうか？                                | まだ K8s のバックアップ製品は少ない点、DELL は VMware 社との連携が強力なため、キャッチアップが速い点などがあげられます。   |  |